

# 景気低迷笑い飛ばせ!

サイン賞を受賞した。仕事上でのコミュニケーション能力を高めようと、元お笑い芸人から笑いを学ぶ講座も活況だ。笑う門には福来る一を実践している現場を訪ねた。

(市川千晴)

景気低迷の寒風が身に染みる年の瀬のニッポン。そんな閉塞感を打ち破ろうとビジネスの世界では今、笑いの力に着目する動きが加速している。ソニーは笑わないと開かない冷蔵庫を試作、グッドデ

## スマイルで開く冷蔵庫



冷蔵庫の名前は「ハピネスカウンスター」。幸せを数える機械を意味する。扉に埋め込まれたカメラの前で笑顔を作ってみた。最初は笑顔が足りなくて失敗。昔の友達と再会した場面を思い出してもう一度笑うと「シャリーン」と電子音がしてスマイルマークが光り、ロックが外れた。



漫才を披露した受講生を指導する笑伝塾の殿村政明塾長＝東京都世田谷区で

開発したのはソニーコンピュータサイエンス研究所副所長で東京大大学院の暦本純一教授。最近のデジタル子どもからお年寄りまで毎日使う冷蔵庫が一番身近な存在だとひらめき即決した。

ソニーによると発売予定はないが、「会議室の入り口扉にシステムを設置したら発言が活発になり、成果も上がった」という事例がある

笑わないと扉が開かない冷蔵庫を開発した東大の暦本純一教授＝東京都目黒区で

## 元芸人の社会人講座人気

ると暦本教授は言う。

元芸人が教えるビジネスマン向け漫才講習も人気だ。「笑いは大人の上質な気配り。勇気と愛情で人と接し、人間力をアップしてほしい」。土曜日の午後、東京都世田谷区のマンションの一室でかつて吉本興業に所属した元芸人、殿村政明さん(四四)が声を張り上げた。

で発表した。殿村さんからは「照れてちゃダメだ。もっと感情を出して!」と熱血指導の声が飛ぶ。

受講者の一人、IT系の会社で働く同区の男性(三四)は「無表情だと言われていたが、続けるうちに会話を楽しくするコツがつかめ、相談を持ち掛けられることが増えた」と笑顔。

「なぜお笑いが注目されているのか。日本笑い学会会長の森下伸也(ユーモア学)は、「古事記の時代から笑いで暗い状況を突破する知恵があった。閉塞感の強い時代だからこそ、笑いで打って出る商品や傾向がある」と話す。

「お笑い」が注目されているのは、日本笑い学会会長の森下伸也(ユーモア学)は、「古事記の時代から笑いで暗い状況を突破する知恵があった。閉塞感の強い時代だからこそ、笑いで打って出る商品や傾向がある」と話す。